

新規就農者の知識習得および地域への定着支援

◆西部支所地域係

(課題番号 1 4)

◆活動年次：令和4年度

◆対 象：令和4年度農村ゼミナール新規受講生(4戸)

1 課題の背景

平成24年度から新規参入者および農家子弟の育成・技術習得を目的とした2年間の「農村ゼミナール」を開講している。

令和4年度は、4戸の新規受講生に対して栽培技術の向上を目的に研修会を開催した。

表1 平取町における就農までの流れ

年次	内容	
1年目	受け入れ農家にて研修	農ゼミ受講
2年目	実践ほ場にて実習	
3年目	就農開始	

2 活動の経過

表2 研修カリキュラム

関係機関と連携し、普及センターがコーディネート

	時期	内容	場所
第1回	実習	6・7月 生育診断手法の習得	平取町振内、紫雲古津
第2回	視察	10月 先輩新規参入者のほ場視察	平取町去場
第3回	実習	10月 土壌断面研修	平取町紫雲古津
第4回～第9回	座学	10月～2月 病害虫の見分け方、経営管理(クミカンの見方) 土壌・肥料、育苗～定植	WEB、JAびらとり、普及センター

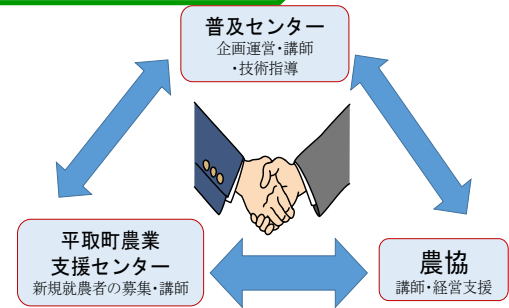


図1 関係機関との連携図



写真1 生育診断手法の習得の様子



写真2 先輩新規参入者のほ場視察



写真3 JA講師による講習会の様子

3 活動の成果

表3 受講生の各講習会に係る理解度

理解度は100%を達成!!

農業者	A	B	C	D
生育診断手法の習得	○	○	○	○
病害虫の見分け方	○	○	○	○
土壌断面研修	○	○	○	○
土壌・肥料	○	○	○	○

○：理解した。 ×：分からなかった。

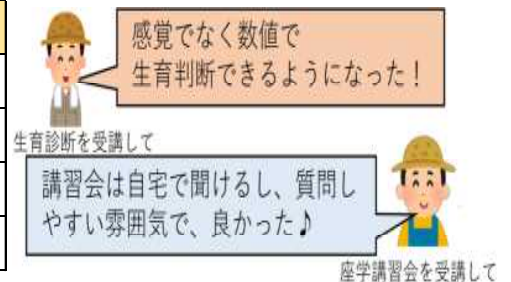


図2 ゼミ生達の声

4 今後の課題

○令和5年度は、当該受講生達は実践農場での研修に移行するため、引き続き支援を行う。